

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平5-304987

(43) 公開日 平成5年(1993)11月19日

(51) Int.Cl. <sup>5</sup>	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
C 1 2 P 21/08		8214-4B		
A 6 1 K 39/395	A D U T	9284-4C		
C 1 2 N 5/28		7236-4B	C 1 2 N 5/00	B
		8931-4B	15/00	A

審査請求 未請求 請求項の数29(全 20 頁) 最終頁に続く

(21) 出願番号	特願平4-162849	(71) 出願人	000005968 三菱化成株式会社 東京都千代田区丸の内二丁目5番2号
(22) 出願日	平成4年(1992)6月22日	(72) 発明者	細川 斉子 神奈川県横浜市緑区鴨志田町1000番地 三 菱化成株式会社総合研究所内
(31) 優先権主張番号	特願平3-158859	(72) 発明者	田川 俊明 神奈川県横浜市緑区鴨志田町1000番地 三 菱化成株式会社総合研究所内
(32) 優先日	平3(1991)6月28日	(72) 発明者	平川 容子 神奈川県横浜市緑区鴨志田町1000番地 三 菱化成株式会社総合研究所内
(33) 優先権主張国	日本 (J P)	(74) 代理人	弁理士 長谷川 一 (外1名)
(31) 優先権主張番号	特願平3-158860		
(32) 優先日	平3(1991)6月28日		
(33) 優先権主張国	日本 (J P)		
(31) 優先権主張番号	特願平3-158861		
(32) 優先日	平3(1991)6月28日		
(33) 優先権主張国	日本 (J P)		

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 ヒト型モノクローナル抗体およびそれをコードする遺伝子、ハイブリドーマ並びに抗腫瘍剤

(57) 【要約】

【構成】 癌患者癌所属リンパ節由来リンパ球とマウスミエローマ細胞との融合により得られるハイブリドーマから、癌細胞の膜表面を認識する新規なヒト型モノクローナル抗体を産生させる。該抗体をコードするcDNAをクローニングして、そのDNA配列およびそれより推定されるアミノ酸配列を決定する。該抗体を腫瘍細胞に対する毒素または制癌剤を内包するリボソームの表面に担持することにより、抗腫瘍剤が得られる。

【効果】 本発明で得られたヒト型モノクローナル抗体を用いることにより、癌組織に対する抗癌剤、毒素等のターゲッティング治療が可能である。また、本発明の抗腫瘍剤は、ヒト型モノクローナル抗体を含むので、癌組織に特異的であり、連続投与が可能である。